☆平成２７年度☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ＹＵＲＩＫＡＧＯ通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆《３月号》

Ｈ２８．２．２５　東京ゆりかご幼稚園

早春の森

　朝の自由遊び、、、子ども達は思い思いのあそびをしますが、その１つの選択肢として、隣接の森の中を散策する機会を設けています。毎日ではありませんが、森と相談し、また職員のサポート態勢を踏まえ、森に入っていきます（詳しくはブログで）。七国峠の林道が中心ですが、時には横道に逸れ「作りたての道」を散策することがあります。作りたて･･･とは、この４５haの広大な森の中に、山歩きの趣味を兼ねて道を作って下さる方がいらっしゃるのです。道もない森の中に、歩けそうな地形を嗅ぎ分け、鋸と剪定ばさみだけで下草（篠竹など）を刈りながら、ひたすら道を作っておられるのです！

隆大先生が早速仲良くなっていましたが、、、山が、森が自然がお好きなのでしょう。そして、きっと子どもの頃に里や森で遊びまわった体験がおありなのでしょう。　大変失礼ながら、私どもはこの道を「原始人の道」と呼び、子ども達と歩きながら、「この道の奥に原始人が住んでいるんだよ！」などと言って森散策を楽しんでおります。「原始人って何？　どんな人？」子どもたちはそれぞれにイメージを膨らませながらその風貌や生活を思い浮かべます。画像や想像画を見せると猿から進化した人間の生い立ちに気づいたり、昔は木の上に棲んでいたこと（樹上生活）、ナイフやスプーンお皿等の道具をすべて木や石で手作りしていたことなど、様々な方面に話が膨らんでいきます。また、生活発表会の劇に動物が出てくるクラスは「ここに○○さん棲んでいるかな？会えるかな？」等と想像を膨らませます。

　このように、現実と虚構とを行き来する幼児期の子どもにとって、「森」は大変「想像の膨らむ空間」であり、絵本の舞台や題材に使われることが多いのも頷けます。普段、ただ通り過ぎてしまう林道も、子どもの発想を尊重し、ちょっと意識を向けることで多くの発見や気付きを得ることができます。そして何より、大人も子どもも気持ちがゆったりとして、心が豊かになっていくことを感じます。段々と春の気配が里山林にも見られるようになってきました。ご家庭でも身近な森林でお子様と想像を膨らませてみては･･･？

Yurikago Blog

★幼稚園の日常の活動などは、ホームページの「ゆりかごブログ」で紹介しています。月に１度のYurikago通信よりもＨｏｔなうちに子ども達の日常の姿をお伝えし、保育をご理解頂ければ幸いです。⇒

生活発表会･･･

　生活発表会には大勢の皆様にお越し頂き有り難うございました。皆様の暖かい眼差しと大きな拍手のおかげで、子ども達も存分に表現できたことと思います。お子様が入園されてからこれまでの歩みを振り返り、大きな成長を感じて頂けましたら幸いです。１人１人が自信を持って新たな一歩を踏み出していくことでしょう。

　ステージ裏ではフリー職員が子ども達を見守っていますが、そこでしか見る事のできない子ども達の表情があるようです。舞台袖から一列になっていざ出て行く時の子ども達の真剣な眼差し･･･。出番以外でも舞台裏で一生懸命歌う姿･･･。詳細は、担当したフリー職員にぜひお聞き下さい！

ホールや保育室だけでなく､､､森のステージでも！

大道具も自分たちで！

豆まき会

　お部屋で豆を食べた後、手作りの鬼のお面や袴（かみしも）をつけて園庭に集合。学年ごとに製作した作品を紹介し合い、いよいよ豆まきのスタート！

　年少さんには「なきむし鬼」が、年中さんには「いやいや鬼」が、年長さんには「らんぼう鬼」が現れました。みんなで力を合わせ「おには～そと！」。段々と弱っていく鬼に、担任が「豆がら」と「柊鰯（ひいらぎいわし）」を見せると、鬼は降参し逃げていきました。すると「福の神」が現れ、みんなに福をもたらしてくれました！

これでみんなの心の中の鬼もいなくなり、１年間元気に過ごせます！！

年長　七国小学校訪問

七国小学校を訪問し、１年生のみなさんが、用意して下さった遊びコーナーで、一緒に遊びました！　小学校への期待や１年生への憧れもふくらみました！

クッキング･･･年少「フルーツゼリー」　＆　年中「焼きうどん」

年少さんはナイフでフルーツを切って！

年中さんは野菜を切って炒めて